# 令和８年度　基本方針

1　事務局体制等の整備強化

(1)　県センターとしての機能強化

ア　運営基盤の整備に努め、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念に基づく様々な事業に対して、積極的に関与し指導者養成、スポーツ・レクリエーションの推進に努める。

イ　日本協会の情報ネットワークシステムの活用を図り、事務の簡素化に努める。

ウ　財政的に厳しい状況の中ではあるが、県民に対し県レク協会への理解を図り、公益事業と収益事業を明確にした運営を行う。

エ　日本協会と連携を密にし、情報の収集、多方面の事業受託に努め、最新の情報や事業を加盟団体及び会員に提供する。

オ　新潟県補助金、日本レクリエーション協会、スポーツ振興くじ toto、子どもゆめ基金等の助成金を活用し事業の拡充に努める。

カ　指導者支援や新規有資格者確保のため、講習会や研修会を可能な限り広範囲で開催する。（レク式体力チェック講習会、幼児・子どもの運動あそび指導者講習会、チャレンジ・ザ・ゲーム、チャレンジ・スポーツ講習会等）

(2) 専門委員会の活動充実

中学校部活動への対応を見据え、委員会組織の拡充や委員会活動の具体案を検討・作成する。新潟県内の健康クラブの推進ならびに若手指導者の養成に努め、指導者のサイクル化を図る。

2　新潟県スポーツ・レクリエーション大会の開催

一般市民を対象とした公益性の高い市民参加型事業を展開する。各市レク・種目別協会と連携し全体計画はもとより、各加盟団体のスポーツ・レクリエーション活動にも工夫・改善を加えるよう実行委員会から提案する。

・第３４回大会は、１０月３日(土)・４日（日）新潟市中央区で開催する。

3　指導者養成事業の開設

(1)　レクリエーション・インストラクター養成講座の開設

日本協会の指導者養成新カリキュラムに沿って、各加盟団体の協力を得てスポーツ系のレクリエーション・インストラクタースクールを開講する。併せて上越地区・中越地区で新たな指導者の養成・発掘を図る。

(2)　「元気アップ教室」の開催

日本レクリエーション協会の委託事業として開催が予定されている「元気アップ教室」を、県内のスポーツ推進委員、中学校体育連盟と連携して推進する。

4　スポーツ・レクリエーション普及振興事業の実施

(1)　他団体との連携・協力事業

ア　全国一斉「あそびの日」キャンペーン事業

指定された期間に開催されるキャンペーンへ、加盟団体から積極的な参加が得られるよう呼びかける。

イ　子どもの体力向上推進事業

幼児・子どもの体力・運動能力向上に寄与する事業を新潟県補助金やゆめ基金を活用して開催する。

ウ　新潟県レクリエーション協会考案・開発「レク式体力チェック」の普及・推進

幼児・子どもの運動（あそび）能力チェックを中心に普及・推進する。また、新プログラ

ムの開発・充実に努める。

エ　グリーン産業（株）や各種企業・団体との連携を深める。

オ　県内外のスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等、関係団体との連携を推進する。

カ　アタック・ファイブの全国展開を目指して、千葉県レクリエーション協会と連携して普及指導員養成講習会と大会を開催する。

キ　インドア・モルック、インドア・クッブ製作・八面体サイコロの販売に努める。

5　受諾事業の実施

日本協会、県、市町村、学校、民間等からの各種依頼については、指導者の派遣、事業受諾など多様な方法で可能な限り対応する。

6　指導者派遣事業

(1)　用具等を購入した団体等の要請に応じて、有資格者会員の協力を得ながら積極的に対応する。また、要請団体へのサービスをねらいにホームページを活用した紹介ページの充実を図る。

(2)　人材発掘と指導者の資質向上をねらいに、可能な限り新たな有資格者を派遣する。

7　広報・広聴活動の充実

(1)　郵送費高騰の中、郵送費抑制を狙いに広報委員会報「レクにいがた」をＨＰにより紹介する。併せてＰＣ環境のない方には郵送でも対応する。

(2)　ホームページを最大に活用し、タイムリーな県レク情報（Fecebook）を全国へ発信する。(リンクを希望する団体を募集中)

8　有資格者支援事業の実施

(1)　日本協会からの資料情報等配布・提供をＨＰで行う。

(2)　フォローアップセミナーを充実させ、有資格者の支援と新規有資格者の確保に努める。

9　団体の育成及び組織強化

(1)　地域協会の支援

退会する団体が続く中、市町村・種目別団体を支援しレクリエーション活動の推進と強化を図り組織の拡大に努力する。

(2)　県内の未加盟種目団体・領域団体に加盟を働きかけ組織の拡大に努める。

(3)　「新潟県課程認定校連絡会」への再支援・再助成を行うよう働きかける。

(4)　新規課程認定校獲得のため、日本協会と連携する。

(5)　県スポーツ･レクリエーション大会へ参加する団体に準備費を補助する。

10　新潟県新採用教員研修

新潟県立教育センターの依頼により、開催される８年度採用の小・中・高等学校・特別支援学校教員研修を担当する。

11　新潟県健康クラブ推進連絡会

本年度県内１４カ所で健康ひろばを開設することに伴い、クラブ間の格差が生じないよう指導者スタッフの研修や連携を密にする。

12　ゆめ基金助成事業として前期県内３か所において「親子ふれあい運動会」を開催する。

1　会　　議

第１回理事会は、令和８年５月２４日(日)；未定　(事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、３４回新潟大会)

第２回は、令和９年３月２８日(日)；未定(定例、事業計画・予算、役員改選、その他)

その外、臨時理事会（必要に応じて開催）

通常総会は、５月２４日(日)；未定（事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、第３３記念大会、役員報告）加盟団体事務局会議は、令和９年３月２８日(日)；未定

2　事　　業

| | 事業名 | 期　　日 | 会　　場 | 予定人数 | 内　　容 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第34潟県ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ大会 | 10月3土)<br>10月4（日） | 新潟柳都中学校他 | 3,000人 | 市民参加型事業を通して、県民の健康づくりに貢献し、生涯スポーツの振興と地域レクリエーション運動の活性化に資する。 |
| 2 | スポ・レクスクール | 5月15日（土）<br>～<br>6月27日（土） | JSC<br>西川地区<br>公民館 | 20人 | インストラクターの養成講座を開催し、レクリエーション運動の中核となる人材の育成を図る。 |
| 3 | 元気アップ教室<br>幼児・児童支援事業 | 4月18日<br>別紙 | 中条<br>グランドホテル<br>糸魚川いくみ<br>保育園他 | 200人 | 幼児・子ども運動能力チェック・運動あそびを継続的に提供し、そのデータを提供保存する。 |
| 4 | ゆめ基金 | 6月7日（日）<br>10月11日(日)<br>2月28日（日） | 新潟市<br>柏崎市<br>南魚沼市 | 100人 | ゆめ夢基金を活用して実施する。<br>ゴミ拾い運動会 |
| 5 | フォローアップセミナー | ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ﾜｰｸ<br>各種ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ　幼児運動 | 新潟市<br>上越市他 | 各30人 | 現実的な課題解決のため講演会・講習会を開催し、指導者を支援する中でｻｲｸﾙ化を図る。 |
| 6 | 課程認定校交流集会 | 未定 | 未定 | 未定 | 課程認定校学生が一同に会し、各学校の特色を活かしたレク活動と研修を行い交流を深める。 |
| 7 | 加盟団体<br>事務局会議 | 3月28日（日） | 新潟市 | 40人 | 日本協会の各種情報を伝達するとともに、お互いの情報交換を通して連携強化を図る。 |
| 9 | セミナー<br>ｸｯﾌﾞ・ﾓﾙｯｸ<br>ｱﾀｯｸ・ﾌｧｲﾌﾞ<br>等各種講習大会 | 別紙資料 | 新潟市<br>上越市<br>三条市<br>柏崎市 | 各30人 | 冬の新潟を前面に出して、日本海側初の全国大会を定着させたい。<br>また、ｱﾀｯｸ・ﾌｧｲﾌﾞ、ﾓﾙｯｸも人気種目として定着しつつある。 |
| 10 | 受託事業 | 別紙資料 | 別紙 | | |